

ゼオン化成

会社紹介

【事業内容】

パウダースラッシュコンパウンド※（以下 PSC）、機能性フィルム、コンテナ等の物流資材、包装材料、建築材料の製造・販売

1981 年、日本ゼオンの加工品事業部が独立して発足。PSC 製造の海外拠点として、中国に続き、2017 年にメキシコ工場を建設し、2018 年 1 月より生産を開始しています。

※ パウダースラッシュコンパウンド（PSC）：金型面で成膜させるための微粒子コンパウンド

【人員数】

2019 年 3 月末人員数：132 名（男性 114 名、女性 18 名）

2018 年度採用実績：4 名（男性 4 名、女性 0 名）



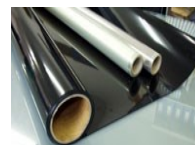
ZEON KASEI MEXICO S.A.DE C.V. 翁化成塑料（常熟）有限公司



製品イメージ



PSC を使用した自動車内装材



機能性フィルム



物流資材折りたたみコンテナ「STEC（ステック）」

会社方針（トップメッセージ）

一人ひとりが考え行動し、2020 年ありたい姿実現を目指そう



大島 正義社長

安全への取り組み

【方針】

全社員が、労災にあうことなく、退職まで、安心、安全に働くことができる会社にする。

【具体的な取り組み】

- ・危険予知活動
- ・ヒヤリハット活動
- ・化学物質・作業リスクアセスメントの実施によるリスクの抽出
- ・人的エラーを防止するエラープルーフ化
- ・安全監査による危険源の抽出と災害予防活動

環境負荷削減の取り組み

【方針】

エネルギー単位の削減と産業廃棄物の削減

【具体的な取り組み】

- ・水銀灯から LED 照明化による水銀不使用と、省エネルギーの推進
- ・低燃費車、電気自動車の利用促進による化石燃料の使用削減
- ・産業廃棄物の削減と埋立廃棄物ゼロの継続

環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオン化成（株）茨城工場		2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	6	6	5	4	5
	使用量（トン）	49	15	18	14	20
	排出量（トン）	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	389	258	284	248	213
	埋立処分量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		19	18	163	156	155
CO ₂ 排出量（トン）		3,468	2,768	2,475	2,332	1,963
エネルギー使用量（原油換算、kL）		1,545	1,265	1,145	1,075	937
消費電力量（千 kWh）		3,869	2,906	2,667	2,479	2,190

ゼオン化成（株）山口工場		2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	3	3	3	3	3
	使用量（トン）	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1
	排出量（トン）	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	151	63	48	89	29
	埋立処分量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		0.0	0.0	0.0	0.0	0
CO ₂ 排出量（トン）		460	367	334	302	302
エネルギー使用量（原油換算、kL）		166	134	124	111	112
消費電力量（千 kWh）		591	482	437	387	399

社員とともに

【方針】

ダイバーシティに対応し、健康で自律的に行動できる人材・組織を創る

【具体的な取り組み】

1. グローバル・専門性を重視した人材育成支援

- ・語学習得費用の補助
- ・専門性取得の外部研修への積極的派遣

- ・目的を明確にした社内研修

2. 対話活動の活性化

- ・たいまつ活動の積極的取り組み
- ・厚生行事の定期開催
- ・衛生委員会を中心とした健康への取り組み

3. 業務改善を通じた人材育成活動

- ・業務改善を通じ、自律的に物事を考える人材の育成
- ・個人も会社も成長することを目指し、改善を続ける風土づくり

地域との共生

【方針】

企業活動を通じ、社会の持続的発展と地球環境に貢献します。

【具体的な取り組み】

1. 東北復興支援ボランティアへの参加

5 年間で 26 回、延べ 72 名が参加しました。

- ・漁業支援のボランティア活動（宮城県気仙沼）
- ・陸前高田の松原復興支援（宮城県陸前高田市）

2. 「東京駅周辺地区合同パトロール」への参加

東京駅周辺地区の合同パトロールに 2018 年度は 4 名が参加し、東京駅周辺のごみ拾いを実施しました。この取り組みは 7 年目を迎え、参加者延べ人数は 36 名となりました。